

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市社会教育委員会議小委員会 (第3回)		
事務局 (担当課)	生涯学習課 電話042-769-8287 (直通)		
開催日時	令和7年10月23日(木) 午前10時00分～午後0時00分		
開催場所	相模原市役所第2別館5階 教育委員会室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	4人(生涯学習課長、総務企画班総括主幹、外3)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題 等	1 あいさつ 2 議題 (1) 研究調査報告書に関する研究大会当日用フォーマットの決定について (2) 全体構成(案)について 3 その他		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ（石川委員長）

2 議題

（1）研究調査報告書に関する研究大会当日用フォーマットの決定について
（石川委員長）

・フォーマット記載について、第2回小委員会をもとに、資料を作成した。

①発表された事例の概要

事業に取り組んだ目的・きっかけ、事業主体の設立の経緯などのキーワードが書いてあるので、このキーワードを意識して、事例発表者から聞き取る。聞きたいことが発表になかった場合は、できるだけ事例発表者に質問して、聞き取る。

②事例に対する社会教育委員の関わりや役割

事例の中の対象自治体において、社会教育委員がどのように関わってきたのかを聞き取る。事業の概要だけを出されると、社会教育委員がどのように関わったのかが見えてこない可能性があるため、質問をしていく必要がある。

③行政との関わり

行政の後押しや支援、関わることの難しさ、エピソードなどを聞き取って記載をする。行政がどのようにバックアップしていくことが大事なのかについて、明確にするには必要な項目立てだと考える。

④相模原市の社会教育活動に活かすには

キーワードを意識して、同じ分科会に参加した委員と意見交換を行い、感想を含めて記載する。事例を聞いて、相模原市で活用するには何が必要なのか等を記載する。「もっと〇〇〇公民館」については前面に出さず、出された課題、行っていることの共通性を含めて、相模原市の社会教育活動にどう活かせるかについて記載する。

（小林委員）

・分科会が3・4・5とあるが、④については、キーワードの追加が必要と考える。第4分科会の「共生社会の実現」では、多様性、こどもまんなか政策などの言葉が出てこないともったいないと思う。

（秦野副委員長）

・事例の概要などで、発表者の方がキーワードとして出すと考えられる。目的やきっかけ、大事にしていることなどをキーワードに足して、①の概要に入れるのはどうか。

（小林委員）

・良いと思う。ただ、第5分科会の「地域学校協働活動」については、相模原市が力を入れている「こどもまんなか政策」に非常に絡んでくると思う。少し触

れておいた方が良いと思った。

(石川委員長)

- ・分科会の発表というよりも、相模原市の状況についての説明がないと、関係性が書けないのではということか。冊子に、相模原市で実施していることを記載しておくのが、良いかと思う。

(秦野副委員長)

- ・市政全体の話にすると大きくなりすぎる。照らし合わせるとしたら、教育振興計画の生涯学習部分を本文のどこかに入れる程度にしてはどうか。
- ・3つの分科会にあたる相模原市の教育政策のようなものも、本文中には入れたい。
- ・キーワードの「相模原市の参考になる点」に（相模原市の教育政策と照らし合わせて）を入れるのが良い。

(高橋委員)

- ・実際にこの項目を書いてみると、フォントなど統一する必要があると思うが、書ききれない。概要は被ってしまう部分が多いので、ここを短くし、④のボリュームを増やすのが良いと思う。それでも、書ききれないかもしれない。

(石川委員長)

- ・①は、人によって分量を調整しやすいと思うので、小さめにしても良いと思う。
- ・②は、社会教育委員との関わりでしっかりピックアップして、明記する。
- ・③は、事例を明記するだけでなく、行政がどうかかわっているのかを明記する。
- ・④は、相模原市とどうリンクするのかというところだと思う。この報告書は、自分達の学びの為だけじゃなく、相模原市に活かせるようにという目的がある。様々な視点があって良いと思う。

(高橋委員)

- ・第5分科会の真鶴町は、地域資源を活かした社会教育活動を発表されていた。相模原市の参考になると思ったので、このような事例を書こうと考えていた。

(石川委員長)

- ・④の書き方については、難しい部分が多いと思う。

(秦野副委員長)

- ・フォーマットからキーワードは取る。記載方法のところに、「相模原の教育政策と以下のキーワードを意識して」と入れておく。
- ・3・4・5分科会に該当する教育振興計画の目標番号を委員に伝える。
- ・④の2つ目キーワードを「相模原市で実施するには課題があっても工夫すれば生かせそうな点やアイデア」とするというこでよいか。

(高橋委員)

- ・フォントの大きさを決めておいた方が良いと思う。

(事務局)

- ・調整を行い、後日皆さんに伝える。

(2) 全体構成(案)について

(石川委員長)

- ・構成イメージをもとに、担当者の再確認を行った。
- ・報告書の最初の説明等について、秦野副委員長が作成してくださったので、その説明をお願いしたい。

(秦野副委員長)

- ・報告書の最初の部分、今回の研究調査報告書の説明部分について、以下の項目について、記載箇所が適正かどうかの意見をいただきたい。
 - ①今回の研究調査報告書は、提言や協議ではなく、学びであるという説明
 - ②大会冊子から転載することの感謝を述べる箇所
 - ③今回相模原市の事例を3つに絞った理由

(石川委員長)

- ・「はじめに」に記載のある「事前・当日、事後の学び合いのプロセス」が、私たち社会教育委員の為に作りましたと受け取られる可能性があると思い、別の表現がよいのではないかと考える。
- ・ヒアリング・現状の把握等を行った為、相模原市に向けた視点の獲得のように、市の役に立っているという部分を目的にした方が良く考える。

(高橋委員)

- ・同意見である。積極的なことを目的にした方が良く考える。

(秦野副委員長)

- ・「話し合いのプロセスは私たちにとっても研究であり、これを皆さんにお伝えすることで、相模原市で活動している方々の参考にもなると考えます。」などと入れるとどうか。

(委員一同)

- ・賛成

(石川委員)

- ・転載については、「はじめに」の中に入れなくても良い気がする。最後の方が良い。

(委員一同)

- ・賛成

(石川委員長)

- ・3つの事例に絞った理由については、十分に協議する時間がなかったという記

載はしなくて良いのではないか。大会の事例と社会教育委員が関わっている事例について、ヒアリングを行ったという記載で良いと考える。

(委員一同)

- ・賛成

(秦野副委員長)

- ・その前段に記載のある、市内には様々な社会教育・生涯学習に関わる施設があるという記載との関連性はどうするか。

(石川委員長)

- ・3つに絞った理由の後に記載するのが良いと考える。

(3) その他

(秦野副委員長)

- ・これまでの討議の経過について、議事録をそのまま載せると膨大な量になるため、大会との関連について整理して記載してみた。
- ・学び合いの記録として、ヒアリングの結果を記載した。
- ・配布については、教育委員会内部の関係部署への報告のみを予定している。

(石川委員長)

- ・全体構成に関して、相模原市の事例が研究発表大会の事例の後に来た方が、良い気がする。

(委員一同)

- ・賛成

(石川委員長)

これまでの議論を委員長、副委員長、事務局と整理して定例会に諮る。

(事務局)

- ・研究大会当日の集合に関して、次回定例会の開催時期について話があった。

以上で、社会教育委員会議第3回小委員会を終了します。

石川委員長の挨拶で回議を終了した。

以上

令和7年度 第2回社会教育委員会議小委員会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	若林 由美	一般社団法人 こども家族早期発達支援学会事務局長		出席
2	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）	委員長	出席
3	秦野 玲子	学識経験者（RE Learning代表）	副委員長	出席
4	小林 政美	学識経験者（特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら 副代表理事）		出席
5	高橋 修一	公募		出席